

文化力の旅 旅鶴プラン300

日本の屋根、神々しい美の旅(1)

列島中央部分の海の大きな溝フォッサマグマを数百万年前、南から伊豆半島が接合し、再び列島を東西に繋げるために海底から隆起した気高き山々、日本アルプス。1万年前の氷河期の後、北・南から海の文化が気高き山々の麓へ上り、畏敬の祈りを捧げ暮らす。仏教もまた神々しい景観美にかさなる。

この季節のご紹介は、
特にございません。

中央アルプス木曾山脈と南アルプス赤石山脈を望み、天竜川の河岸、段丘上に位置する駒ヶ根市。天台宗の別格本山光前寺が佇む。本堂から眺める庭園は名勝天竜峡に匹敵する。滝組みは滝門瀑の様式で滝口付近の石組に優れた意匠が施される。客殿奥の築山泉水庭は前面に池を掘り、自然の傾斜地を築山にみなした巨石を立て中心とする。



(左)光前寺 写真提供:光前寺/エージェンシー広宣



(右)光前寺 三重の塔
写真提供:
光前寺/
エージェンシー広宣

宝積山 光前寺

駒ヶ根市赤穂29 TEL:0265-83-2736
(開)9:00-17:00
(休)無
(料)中学生以上500円 小学生以下200円

この季節催事情報特にございません。

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。



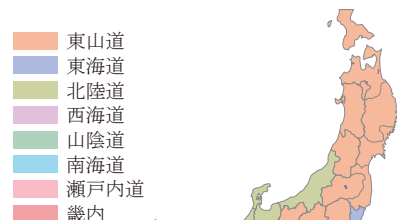
富士見台高原 写真提供:ジェイ・マウンテンズ・セントラル株式会社

この季節のご紹介は、
特にございません。

長野県阿智村と岐阜県中津川市の境界、恵那山麓にあり、一面に千島笹が生い茂る標高1739mの富士見台高原。山頂まではリフトで気軽に登れ、大パノラマの絶景が広がる。近くには古来、古代東山道の中で最大難所といわれた神坂峠がある。奈良の昔から、遥々旅をする古人が杖を止め、この風景を賞賛した。今も昔も変わらぬ眺めがある。

この季節催事情報特にございません。

富士見台高原ロープウェイ
ヘブンスそのはら
長野県下伊那郡阿智村智里3731-4 TEL:0265-44-2311



畿内七道とは

日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

旅鶴倶楽部
会員特典

この季節のご案内は特にございません。

つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

東山道

上田市立信濃国分寺資料館

長野県上田市国分1125
TEL:0268-27-8706
特別展「新春蘇民将来符展」
平成24年1月5日(木)~1月31日(火)

信濃国分寺の八日堂縁日で頒布される蘇民将来符や全国各地の護符をわかりやすく展示。室町時代の古文書「牛頭天王之祭文」や江戸時代の「八日堂縁日図」も特別に公開される。



蘇民将来符 所蔵・写真提供:上田市立信濃国分寺資料館

東山道

長野県立歴史館

長野県千曲市屋代260-6
TEL:026-274-2000
冬季展「郷土のお宝~重文・県宝~を見よう」
平成23年12月10日(土)~平成24年2月26日(日)

重要文化財新指定後、初展示となる日向林B遺跡出土品をメインに、館所蔵の重要文化財や県指定の資料を中心に展示する。時代を貫く信州のお宝が大公開される。



日向林B遺跡出土石器 写真提供:長野県立歴史館



信濃国分寺
写真提供 上田市立信濃国分寺資料館

風情に残る信濃国の一番よき地

8世紀中頃、千曲川沿いで東山道に近い上田に国分寺、国分尼寺が建てられた。建立にあたっては清々しき良き地が選ばれた。現在も、上田の信濃国分寺史跡公園や信濃国分寺の境内にはその風情が残る。信濃国分寺では、厄災除けの文様と「蘇民将来子孫人也」の文字を書き入れた六角形の木製護符を頒布している。このお守りは遠くインドの牛頭天王信仰につながる。

信濃国分寺 長野県上田市国分1049 TEL:0268-24-1388
上田市立信濃国分寺資料館
長野県上田市国分1125 TEL:0268-27-8706
信濃国分寺をはじめ上田地方の文化、歴史を紹介する資料館。
(開)8:30-17:00 (休)水、祝日の翌日 (料)大人250円、高大生180円



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」

スタイルカフェ・ドット・ネット
〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



東日本大震災 文化施設応援サイト

天智有の事跡でも、文化として歴史を守っているひとがいる。こころをかきわて、がんばり日本!

協力:日光山輪王寺 総編集:弘法堂書局 (C)2011-2013

旅鶴 応援 検索

平成23年4月15日開設